

## 令和4(2022)年度 基盤研究(S) 審査結果の所見

研究課題名	野生生物における種分化の生態遺伝機構
研究代表者	北野 潤 (国立遺伝学研究所・ゲノム・進化研究系・教授) ※令和4(2022)年6月末現在
研究期間	令和4(2022)年度～令和8(2026)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b> 本研究は、トゲウオ種分化連続体を対象としたゲノム解析や遺伝子操作、野外実験、数理解析等を通じて、野生生物の種分化の全行程を明らかにし、そのメカニズムの解明を目指すものである。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b> 本研究は、様々な程度に分化したトゲウオ類が同所的に分布している日本の地の利を生かしたものであり、応募者が独自に確立した系を用いて多角的に解析することにより、進化学の発展に大きく貢献することが期待される。また、野生生物の生態的分化から、転換点を越えて生殖的隔離に至る種分化過程の全体像が、その遺伝及び生態メカニズムと共に世界で初めて解明されることが期待される。</p>